石川県立門前高等学校　３つの方針（構想図）

地域を活性化し、社会に貢献できる人間

○進路実現を可能とする知識・技能を身に付けるようとする力。
○習得した知識・技能を利活用する力（思考力・判断力・表現力等）。
○他者と協働しながら、地域課題等の課題を解決できる力。
○門前地域の自然や文化を理解し、主体的に地域社会に関わろうとする態度。

養其志
天不容偽
相　　承

キャリア形成の学び

- **3年**　確かな進路実現のための学びの深化
- **2年**　キャリア発達と促進
  （普通コース：文理別の学び
  キャリアコース：商業福祉別の学び）
- **1年**　自己分析と自己理解
  （普通コース：文理の選択
  キャリアコース：商業福祉の選択）

探究的･協働的な学び

- **3年**　協働的地域貢献による社会参画意識の深化
- **2年**　課題解決の提案・発表
  （他者との協働の促進）
- **1年**　地域課題の発見
  （情報の収集・整理・発信）

○門前町活性化につながる人材育成のための地域との協働活動をさらに充実させるため、門前町の自然保全と観光活用を新たに加え「総合的な探究の時間」を現行の３年間合計３単位から４単位に増加。
○普通コース＝多様な進路実現に対応できる科目、高校数学全体の融合問題に対応できるオリジナル授業、学習支援ソフトを用いて個に応じた学習支援を行い、個別最適な学びを実現。
○キャリアコース＝専門科目の授業の増加と充実、特に商業系では、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの視点から、ふるさとに貢献できる人材を育成するために、３年次では「観光ビジネス」を新規開設。一方、福祉系では、最新の手法を取り入れた「介護職員初任者研修」の資格取得の指導充実。

○将来の進路に対する目的意識が明確で、向上心・向学心が旺盛な生徒。
○地域活性化という課題に対して、主体的に取り組みたいという意欲を持っている生徒。
○特定の分野に優れた能力・技能を有し、さらに伸長させたいという意欲を持っている生徒。

保護者、県、市、地域関係機関等から支えられた教育活動

○連携型中高一貫教育
・英語の相互授業による学力向上
・中高合同の部活動、マラソン大会　等

○県からの支援
・ふるさと教育推進
（地域の課題発見・解決、発表等）
・アントレプレナーシップ教育推進

○普通コース・キャリアコース
（４年制大学等進学・資格取得・就職）

○学習支援ソフトの導入
・多様な進路希望に応じた個別最適な学びの実現

○部活動
・運動部７部、文化部４部

○連携・協力・支援
・保護者、輪島市、禅の里交流館、門前町商店街、同窓会　等

○ボランティア活動
・海岸清掃、門前商店街清掃
・独居老人の方への年賀状の送付
・手打ちそばの贈呈　等